


# SHOWA

技術とモノづくりで豊かな未来を

## 第97期 中間報告書

平成30年4月1日 ▶ 平成30年9月30日

 昭和鉄工株式会社

Showa Manufacturing Co.,Ltd.

証券コード：5953



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは平成30年9月30日をもちまして、第97期中間期を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに中間決算の結果につきましてご報告申し上げます。

平成30年12月

代表取締役社長 **福田俊仁**

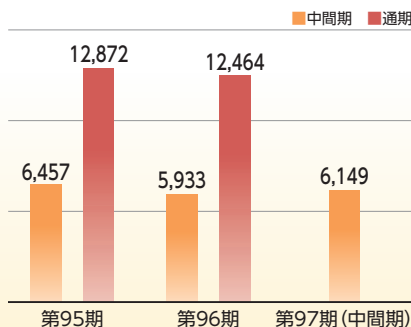
## 「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現」「事業の選択と集中」、「差別化新製品

当中間期(平成30年4月1日～平成30年9月30日)におけるわが国経済は、雇用情勢・所得循環の改善や民間設備投資の持ち直しにより、穏やかな回復基調が続く一方で、北海道胆振東部地震、大型台風、記録的豪雨や猛暑が全国各地に災害をもたらし、また海外における米中の貿易摩擦による世界経済の不確実性などの影響もあり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する!」の4年目の年として、平成31年度までに連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率4%以上を実現するため、重点課題である「事業の選択と集中」、「差別化新製品の開発」及び「固定費の最小化」に取り組んでまいりました。また、中期経営計画達成のため、効果的な事業戦略を検討する「Project Skye」のもと、4つのタスクフォースを中心に改革を継続推進しております。

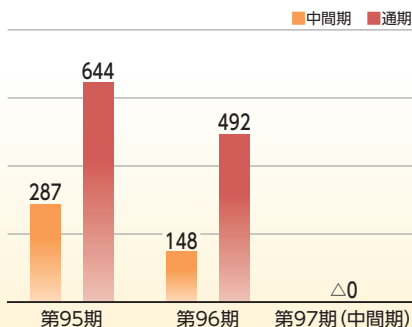
### 売上高

(単位:百万円)



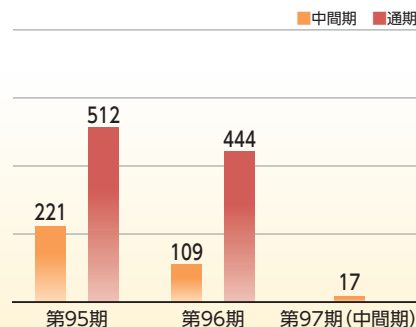
### 経常損益

(単位:百万円)



### 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

(単位:百万円)



## する！」を確実なものとするため、重点課題である の開発」、「固定費の最小化」を継続推進してまいります。

機器装置事業につきましては、熱源機器は特に業務用エコキュート及び銅板製ボイラーが低調に推移し、売上が減少しました。空調機器はエアハンドリングユニット及び直暖機器が堅調な一方で、ファンコイルユニットが低調に推移し、売上が減少しました。環境機器は循環温浴器が低調に推移し、売上が減少しました。一方で、サーモデバイス機器は熱処理炉が好調に推移し、当事業の売上高は41億8千1百万円(前年同期比7.7%増)となりました。

素形材加工事業につきましては、鋳造品は精密鋳造品及び特殊鋳造品が堅調に推移しましたが、景観製品は標準高欄及び高欄転売が低調に推移し、当事業の売上高は6億4千4百万円(前年同期比9.0%減)となりました。

サービスエンジニアリング事業につきましては、取替工事及び保守契約がほぼ前年並みに推移し、当事業の売上高は13億2千2百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

その結果、当中間期における当社グループの売上高は

61億4千9百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

損益面では、営業利益は3千5百万円(前年同期比76.9%減)、経常損失は0百万円(前年同期は経常利益1億4千8百万円)、親会社株主に帰属する中間純利益は1千7百万円(前年同期比83.8%減)となりました。

通期の見通しにつきましては、五輪関連需要や人手不足への対応など生産性向上に向けた企業の設備投資の増加や雇用・所得環境のさらなる改善等により、底堅く回復基調が続くものと予想されます。

当社グループは、中期経営計画「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する！」を確実なものとするためにも、今期の業績計画達成に向け全力で取り組む所存でございます。

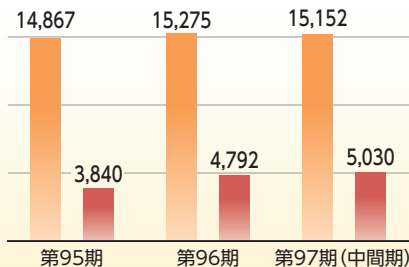
また、中間配当につきましては、今後の経営環境の見通しや内部留保の充実を勘案し、見送らせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

総資産・純資産

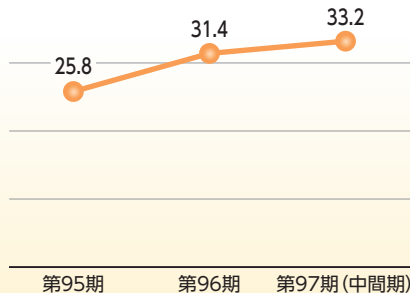
(単位：百万円)

■総資産 ■純資産



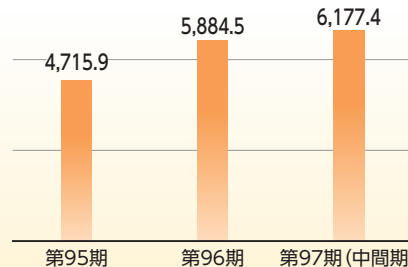
自己資本比率

(単位：%)



1株当たり純資産

(単位：円)



(注)当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり純資産については過年度に遡及して修正した数値を記載しております。

## 中間連結貸借対照表

科目	当中間期 平成30年9月30日現在	前中間期 平成29年9月30日現在	前期 平成30年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>	<b>8,463</b>	<b>8,599</b>	<b>8,939</b>
現金及び預金	3,189	2,800	3,184
受取手形及び売掛金	3,041	3,674	3,645
電子記録債権	328	277	363
有価証券	200	200	200
たな卸資産	1,611	1,552	1,487
その他	95	97	62
貸倒引当金	△2	△2	△3
<b>固定資産</b>	<b>6,688</b>	<b>6,282</b>	<b>6,336</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>2,498</b>	<b>2,839</b>	<b>2,471</b>
建物及び構築物	718	659	728
機械装置及び運搬具	214	316	208
土地	1,411	1,611	1,411
建設仮勘定	47	139	1
その他	107	111	122
<b>無形固定資産</b>	<b>63</b>	<b>61</b>	<b>71</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>4,126</b>	<b>3,381</b>	<b>3,793</b>
投資有価証券	3,621	2,930	3,238
その他	669	478	718
貸倒引当金	△164	△27	△164
<b>① 資産合計</b>	<b>15,152</b>	<b>14,882</b>	<b>15,275</b>

### ① 総資産

前期末に比べ1億2千3百万円減少し、151億5千2百万円となりました。主な要因は、たな卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料)1億2千4百万円、投資有価証券3億8千2百万円が増加した一方で、受取手形及び売掛金6億4百万円が減少したものです。

### ② 負債

前期末に比べ3億6千2百万円減少し、101億2千1百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金3億3千7百万円、借入金1億2千5百万円が減少したものです。

### ③ 純資産

前期末に比べ2億3千8百万円増加し、50億3千万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金2億7千1百万円が増加したものです。

科目	当中間期 平成30年9月30日現在	前中間期 平成29年9月30日現在	前期 平成30年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>			
<b>流動負債</b>	<b>6,688</b>	<b>7,451</b>	<b>7,478</b>
支払手形及び買掛金	2,260	2,702	2,597
短期借入金	3,225	3,650	3,725
未払費用	580	554	483
未払法人税等	65	52	105
その他	557	492	566
<b>固定負債</b>	<b>3,433</b>	<b>3,279</b>	<b>3,005</b>
長期借入金	700	525	325
退職給付に係る負債	2,015	2,079	2,059
繰延税金負債	357	298	250
その他	360	376	369
<b>② 負債合計</b>	<b>10,121</b>	<b>10,730</b>	<b>10,483</b>
<b>(純資産の部)</b>			
<b>株主資本</b>	<b>4,078</b>	<b>3,791</b>	<b>4,126</b>
資本金	1,641	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225	1,225
利益剰余金	1,360	1,072	1,407
自己株式	△148	△147	△148
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>951</b>	<b>359</b>	<b>665</b>
その他有価証券評価差額金	1,280	794	1,009
為替換算調整勘定	70	68	86
退職給付に係る調整累計額	△399	△503	△429
<b>③ 純資産合計</b>	<b>5,030</b>	<b>4,151</b>	<b>4,792</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>15,152</b>	<b>14,882</b>	<b>15,275</b>

## 中間連結損益計算書

科目	当中間期	前中間期	前期
	自平成30年4月1日 至平成30年9月30日	自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日
<b>4</b> 売上高	6,149	5,933	12,464
売上原価	4,880	4,567	9,490
売上総利益	1,268	1,365	2,973
販売費及び一般管理費	1,232	1,210	2,525
<b>5</b> 営業利益	35	154	447
営業外収益	53	52	177
営業外費用	89	58	132
<b>5</b> 経常損益	△0	148	492
特別利益	50	—	187
特別損失	—	—	208
税金等調整前 中間(当期)純利益	49	148	471
法人税、住民税及び事業税	50	39	160
法人税等調整額	△18	—	△133
中間(当期)純利益	17	109	444
<b>5</b> 親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	17	109	444

### 4 売上高

平成31年度までに連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率4%以上を実現するため、重点課題に取り組むとともに、効果的な事業戦略を検討する「Project Skye」のもと、4つのタスクフォースを中心に改革を継続推進しています。その結果、当中間期における当社グループの売上高は61億4千9百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

### 5 営業利益・経常損益・親会社株主に帰属する中間純利益

営業利益は3千5百万円(前年同期比76.9%減)、経常損失は0百万円(前年同期は経常利益1億4千8百万円)、親会社株主に帰属する中間純利益は1千7百万円(前年同期比83.8%減)となりました。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当中間期	前中間期	前期
	自平成30年4月1日 至平成30年9月30日	自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日
<b>6</b> 営業活動による キャッシュ・フロー	241	△222	48
投資活動による キャッシュ・フロー	218	△298	△50
財務活動による キャッシュ・フロー	△200	△225	△360
現金及び現金同等物の 増減額	260	△746	△362
現金及び現金同等物の 期首残高	3,050	3,413	3,413
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	3,311	2,667	3,050

### 6 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は2億4千1百万円(前年同期は2億2千2百万円の支出)となりました。主な要因は、売上債権の減少額6億3千8百万円による増加と、たな卸資産の増加額1億2千4百万円及び仕入債務の減少額3億3千7百万円による減少です。

納入実績

## 城下町の風情を色濃く残す 歴史の街・岩国に案内板を設置しました。



錦帯橋でも有名な山口県岩国市。この錦帯橋によって結ばれる岩国地区・横山地区は、江戸時代の城下町としての歴史性を受け継いで、豊かな自然と歴史的景観が融合する特徴ある街なみを形成しています。同市が推進する「城下町地区街なみ環境整備事業」の一環として、来訪者に地区の魅力を伝え回遊を促進するための案内板整備が計画され、当社が総合案内板10基、誘導案内板19基を納入しました。

案内板の意匠には、ボリュームを極力抑え、街なみの景観に配慮した統一的なデザインが求められました。そこでメイン部材に当社のダクタイル鋳鉄を提案し、周囲の景観に同調する良好な質感と意匠性、支柱をスリムにできる高い強靭性が存分に発揮された案内板になりました。

企画・設計・製作・施工の一連に携わり、当社の技術力と対応力がアピールできました。

## 会社概要

商号	昭和鉄工株式会社 Showa Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8
創業	明治16年10月2日
設立	昭和8年4月30日
資本金	16億4,100万円
従業員数	330名 (連結385名)
主な事業内容	ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ヒーター・バーナー・オコシス等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋梁用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売のほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンテナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計・監理・施工の請負

## 主な事業所

東京支社	東京都大田区蒲田五丁目44番5号
工場	宇美工場(福岡県糟屋郡)、古賀工場(福岡県古賀市)、札幌工場(石狩市)
営業所	札幌(石狩市)、仙台、北関東(さいたま市)、名古屋、大阪、広島、下関、九州(福岡県糟屋郡)、南九州(熊本市)、鹿児島
関係会社	昭和ネオス株式会社、昭和トータルサービス株式会社、大連氷山空調設備有限公司

## 役員

### 取締役・監査役

代表取締役	福田 俊仁
取締役	鍋山 敏郎
取締役	倉岡 淳
取締役	日野 宏昭
取締役	村瀬 廣記
取締役	松尾 利浩
監査役(常勤)	山根 讓治
監査役	吉田 泰彦
監査役	村上 英之

### 執行役員

社長CEO	福田 俊仁
常務執行役員	鍋山 敏郎
常務執行役員	倉岡 淳
上級執行役員	日野 宏昭
上級執行役員	鈴木 善廣
上級執行役員	井上 敏
執行役員	平田 清

## 株式の状況

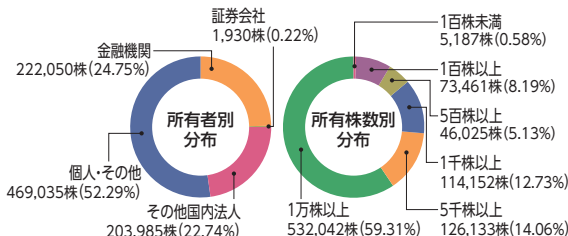
発行可能株式総数	2,400,000株
発行済株式の総数	897,000株
株主数	837名

## 大株主

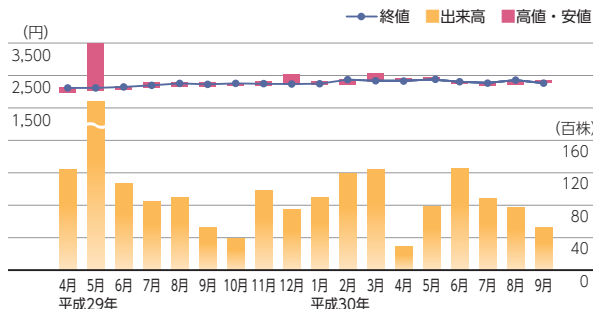
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社福岡銀行	38,650	4.74
株式会社西日本シティ銀行	38,500	4.72
株式会社北九州銀行	35,750	4.39
西部瓦斯株式会社	34,500	4.23
西日本鉄道株式会社	29,100	3.57
飯田卓子	27,111	3.32
飯田久泰	26,700	3.27
林久江	21,505	2.64
飯田吉宣	19,850	2.43
福田好美	19,813	2.43

(注)持株比率は、自己株式(82,719株)を控除して計算しております。

## 株式分布状況



## 株価の推移



(注)平成29年10月1日付で株式併合(普通株式10株につき1株の割合)及び単元株式数の変更(1,000株から100株)を行っております。株価及び出来高については、株式併合の影響を加味し、遡及して修正した数値を記載しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の基準日 毎年3月31日 剰余金の配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問合せ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国 各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。 <a href="http://www.showa.co.jp/koukoku/index.html">http://www.showa.co.jp/koukoku/index.html</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載して行います。
単元株式数	100株



ホームページもご覧ください。  
<http://www.showa.co.jp/>

## ● 株主様へのご案内

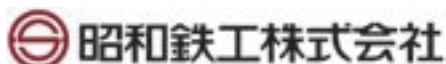
住所変更、単元未満株式の買取・買増  
等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別  
口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。



〒811-2101 福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8  
TEL 092-933-6390 (代表)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。  
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。